

# このまちで働く このまちを変ええる

## 職員インタビュー

皆さん、「市役所の職員」と言えば、どのような姿を想像しますか。「お堅い」「杓子定規」「つまらなさそう」…、こんなマイナスイメージを持つ人も多いのではないのでしょうか。

皆さんが普段あまり知ることができない、職員の生の声をインタビューしました。是非知ってください。私たちの熱い思いを。

図 広報広聴課

**寝屋川市職員を志した理由、きっかけは？**

昔から「人の役に立ちたい」という思いが強かったのと、女性が働き続けやすい環境が整っていると思いい、寝屋川市役所を目指しました。

**仕事で大きな出来事などはありましたか？**

係長時代に、2年間、大阪府企画室に研修派遣されたことは良い経験になりました。市という枠にとら

われず、大阪府全体を俯瞰（ふかん）できる仕事をする中で、視野が広がり、仕事への考え方が大きく変わりました。寝屋川市の外で仕事をすることで逆に、寝屋川市の強み、弱点に気付かされたことは今でも大切な財産です。昨年に全国的にも珍しい総合型アプリとして「市川」を製作した

市役所の仕事は、定期的な人事異動で色んな仕事に就きます。私は、どこでも通用する「ゼネラリスト」でありたいと常々思っています。今後は、これまでの経験と自己

ことが思い出深いですね。このアプリをきっかけに、市内外にもっとこのまちの魅力をアピールしたいと考えています。

**今後の目標は何ですか？**

今は広報課長として庁内の仕事に幅広く携わっています。市の良いところを掘り起こして積極的に情報発信することでまちのイメージをより良く変えたいですね。



# 「このまちを日本一輝くまちにしたい」

まち政策部 都市計画室 係長 湯田 直樹



寝屋川市職員を志した理由、  
きっかけは？

工業高校の建築科に通っていたこともあり、建築の仕事に携わりたかったからです。

どのような仕事をしているのですか？

学校の施設を作ったり、市内の公共施設の維持管理をしています。今は市内の都市計画に関する業務がメインですね。この道路をもっと広げよう、ここは商業地域にしよう、ここは住宅地域にしよう、などまちづくりの基礎となる部分の仕事をしています。

思い出深い出来事などはありましたか？

小学校にパソコンルームを作ったとき、学校の女の子たちから

「パソコンルームを作ってくれてありがとう」とわざわざお礼を言われたことや、学校のトイレを改修したときに生徒から「本当にきれいになっていつまでもトイレにいたい」なんて言ってもらえたことは本当にうれしかったですね。

逆に大変なことはありましたか？

平成28年の熊本地震のときに、

応急危険度判定のため現地に派遣されましたが、行く前は「自分が行って何ができるのだろうか」「被災者の方々から『何しに来たんだ』と思われるだろうか」などと大きな不安に襲われましたね。実際に行ってみると、確かに仕事は大変でしたが、現地の方々は「遠い所から来てくれてありがとう」と温かく受け入れてもらえました。その経験から、被災者の方により心を寄せて接する大事さを学び、今回の大阪府北部地震でも対応のときに役立ったかなと思っています。

今後挑戦したいことはありますか？

「市のイメージを変えたい」ですね。このまちはもともとと輝けるポテンシャルがあります。私が魅力的なまちにしてやる！と日々このまちの新しい形を考えています。

寝屋川市職員を目指す人へ  
メッセージを

行政の仕事は本当に多岐に渡ります。良いことだけでなく、山あり谷ありの仕事と向き合うことは苦勞もありませんが、その分だけやりがいも増えます。何より人として成長できると思います。プライベートも充実させながら、たくさんさんの仕事にも挑戦したい、そんなチャレンジ精神を持った人、お待ちしております！

寝屋川市職員を目指す人へ  
メッセージを

まちづくりは本当に大きな仕事です。23万人を超える人々の生活の基礎を作ることが出来る仕事はこの職場ならではです。あと、私がお酒を酌み交わすのが大好きです。楽しくまちの未来を語れる人、待っています！

「情報発信でまちの  
イメージを変えたい」

経営企画部  
広報広聴課

課長

松下 智美



社会教育部  
文化スポーツ室 副係長  
元村 友哉

# 「日々、挑戦。日々、成長。」

**寝屋川市職員を志した理由、きっかけは？**

たくさんの人に喜んでもらえる、色々な事業に挑戦したいと考えて、市役所職員になりたいと思いました。私は京都育ちで、寝屋川市には特に縁はなかったのですが、新しい施策などに意欲的に取り組んで

いる姿勢が自分に合っていると感じ、受験しました。

**実際にこのまちで仕事をしてどのように感じましたか？**

入庁してすぐに携わった仕事で、「アルカスホール」の開館に向けての準備でした。受付方法や施設の維持・管理をどうするかなどの具体的な運営方法はもちろん、このまちの「文化」をどうやって発展させていくか、一から考えていくのは、素晴らしい経験になりました。とても大変でしたが、市民の方からアルカスホールの評判を耳にすると、「この仕事をしていて良かった」と思いました。

**そのほかに思い入れのある事業はありましたか？**

特に良い経験になったのは、「寝屋川ハーフマラソン」の立ち上げですね。マラソンというと、ただ走ってもらうだけのイベントに聞こえますが、コースの設定、ボランティアの協力依頼、安全面の配慮など、考えることが山のようにあります。何より、「5000人」を超えるランナーにどう満足してもらうか、と考えると不安でいっぱいでした。しかし、市民・団体の方々の協力、上司や同僚とともに取り組み、無事に開催することができ、全国各地からランナーが集まった大会当日のス

タート前の様子は一生忘れることのできない思い出です。

**今年の4月から副係長に昇進し、何か変化はありましたか？**

同じ仕事でも、立場が変わることと違う角度から見えますね。係員のときには見えなかった部分にもう少し踏み込んで物事を考えるようになり、視野が広がりました。また、裁量が増えたことで、もっと自分の力で市民が喜んでもらえることを作り上げていきたいと考えています。

**今後挑戦したいことはありますか？**

二つあります。一つは、「ねやがわプールズ」という事業をこの夏に行いますが、これは小学校の校庭にウォータースライダーや簡易プールを設置して、子どもたちにも楽しんでもらう事業です。いつもの学校が楽しいプールに変わるなんて、考えただけでワクワクし

ますよね。子どもたちに絶対喜んでもらえるよう全力で取り組んでいます。早くみんなが遊んでいる姿を見たいですね。もう一つは、「寝屋川文化芸術祭」という事業を今年の秋に開催します。67年続いた「市民文化祭」を再編するという歴史的なプレッシャーを感じつつも、中核市移行を目指すこのまちの文化行事を更に前進させる軸として、市民・団体の皆さんと一緒に文化の祭を生まれ変わらせたいと考えています。

**寝屋川市職員を目指す人へメッセージを**

前例に捉われず、どんどん新しいことにチャレンジできる職場です。「市民が喜ぶこと」を第一に考えて、何ができるか、何をすべきか、一緒に考え、成長できるような人とともに働きたいです。そこそは、という人、私と一緒に頑張りたいです。

## 休日の元村さん

休日は、大好きなサッカーの観戦に行きます。

スタジアムでファンみんなと一緒に応援すると、本当に一体感があって、気持ちが高ぶります。応援チームが勝ったときは、最高の瞬間ですね！



## 職員採用説明会を開催します

日時

8月15日(水)①午前10時～正午(受付は午前9時30分～10時)、②午後2時～4時(受付は午後1時30分～2時)

場所

市役所議会棟4階第1委員会室(受付)

内容

市の概要や仕事、職員採用などに関する説明、ブース形式の質疑応答など

対象

平成30年度実施(平成31年度採用)市職員採用試験の受験を考えている人(各回定員100人、申込順)

申込

8月1日午前9時～13日午後5時30分に市ホームページ「人事室」

※ホームページで申し込みできない人は、住所・氏名・電話番号・最終学歴(平成31年3月卒業見込みを含む)を書いたものを8月10日(金)＝必着＝までに郵送で人事室(〒572-8555本町1番1号)



圃  
人事室

平成31年度の中核市移行を見据え、「誰もが健康に働き、成果を出す精鋭組織」を目指して、輝ける人材を募集します。

「中核市」一緒にスタートしよう!

平成31年4月1日採用

寝屋川市職員募集

申込期間

8月16日～9月4日

申込方法や採用予定職種など、詳しくは人事室で配布している試験案内又は市ホームページ「人事室」を見てください。

／ 待っています! ／

